

格物編

吉亨軒藏

14
2478
267



44
號 2478
卷 267



格物偏

部類目錄

掛物之夏

鎖自在之夏

風炉 並小板夏

香合之夏

火箸之夏

炮烙之夏

炭切形之夏

釜之夏

五德之夏

炭計之夏

羽簾之夏

小口之夏

半田之夏

炉縁之夏

炉之灰之夏
 花入之夏
 茶入之夏
 茶碗之夏
 茶筥之夏
 袋之夏
 柄杓之夏
 服紗之夏

灰抄子之夏
 水指之夏
 束薄茶器之夏
 茶抄之夏
 茶巾之夏
 建水之夏
 蓋置之夏

掛物之部

一床ノ上方ヲ軸本ト云中ヲ軸ク前ト云下方ヲ軸先ト云
 ○釘ハ大サ平面ニテ下方丸クケル天井縁ヨリ中ハ九分九右一寸サカリニ打出ハモ一寸サカリハ一寸九分サカリハ九分也
 一軸飾之夏 屏外題飾ト云ス
 一中央ニ幅掛ル時ハ巻箔ハ丸床ノ下方ハ引ヨ置一
 客居ノ上末ニカ、ワラス床ノ下ト心得
 一三幅對ノ時ハ中上下ト軸先^口引ヨ上方ヲ軸本ハ

引ヨセ置

一掛物卷テ置時ハ風帯右ノ方ヲ下メシテ左ノ方
ヲ上ヘニ致シ置也

一大横物ヲ掛ルハ中ヲ先ツ釘ニテ右ラカケ中ノ
釘スツシ置也。○横幅三尺以上ノ掛物ハ凡カケ端
ニツヨシ

一書院床救寄屋圍ニ至ルニテ掛物取合處ニ物救寄
スルヘシ床ヨツテ掛物ヲ存掛ニヨツテ床ラカケル夏可者
一簾ノ掛物茶亭ノ元面白

一簾贊ノ物ハ筆者ヨリ專茶亭ニ用

一茶亭後座ニ掛物ヲ置花文置テヨリ亦初座ニ
花ヲ生テ後座ニ掛物ニ致スモテリ是等ハ定法外ナリ

一夜分ハ大字ノ物ヲ用細字物ソノ外見ワケカタキ
物ハ無用茶亭ノ夜咄ニ素床ノ方ヨリ水指繪蓋
ナリ(掛物ノ影ノウラルヤウルトヨリ心遣アルハニ共ニ要スル
可然カ)

釜之部

一釜ノ蓋炉ノトキハ居前ニ隨テ切風炉ノ時ハ何レモ真

直切ナリ少し手ナリミツムモ不若

一輪口立口カリ口行シモ釜く抄ラケケ炉縁ト抄ノ柄ノ

間中指ノ入サト明ヤウニ釜ヲカケル

一焼只抄ノ柄ノ本上ハ子テ置ト抄ノ柄ノ本テ指入

サト明ヤウニ釜カケルナリ

一仕付ノ環合口客付ノ方前ニシテ壁付ノ方向致ス

亦ノ左右ロモ合口ト上致スモナリ

一常環釜ハ釜シシメ釜シキライダシ服紗ヲニ折ニ隅カ

ケテシコキ折服紗ノ真中ヲ釜ノ蓋ノ下ニノ所アス

位カケ服紗ノハシテ右方ノ環ヲ持添尤ノ方モ持添

釜ヲ上ケ服紗ヲ右ヨリハツシ尤ラハツシ服紗ハ取タシテ

常ニ環ハツシ置所置炭仕廻テ釜カケル時服紗ヲ取初

ノ如クシテ環ノ右ヨリ持釜ヲカケ直ニ服紗ヲハツシ取

シテニ環サケ釜ヒツミシハ服紗ヲ直シテ環ノ合口ニ法

ノ如クハツシ置

一其ニ釜ノ釜ハ香合置付服紗ヲ取釜ノ白ラシメ服紗腰

ニツケ環ヲカケ釜シキラ出シ釜上ノ常環ノ共蓋ハ釜

シキラ出シ服紗ヲ取サキ釜ノ蓋シシメ直ニ法ノ如ク釜上

ケル也。釜カケ仕廻服紗ヲ腰ニツケ釜ニキリ納釜ノヒツ
ミラ見テ環ヲ直シ服紗取サキ釜白ラ切ナリ
一炉時ノ炭ニ釜アケ引直スニ不及格別大釜トハ壁
付ノ方、引付直シ置基子袋棚類ニテ格別大釜
ニ取合ヨシカラス小釜ニテモ炭ノ時壁付引ヨセ置
方棚高麗阜ニテモ中釜以上引付置
一風炉時ハ水指置前ノ通ニ釜上ケ膝ヲ直シテ
少シ下モ引ヨセ置

一風炉時熱而釜ノ又落ト風炉ノ上端ニ三分ハ下

カニ釜カケルヤウニ五徳居テヨシ

一風炉ノ釜小キハ膝ニカケラシ不若中以上ハ膝ヲ
立テカケラシ致スハ勝手壁付ノ方膝ヲ立ル

一大釜ノ釜ニ蓋取節蓋ヲキ定所ニ直シ有ラフメニ
應シ少外ニ置直シ釜ノ蓋ヲ取置テリ釜ノ蓋致ス

時ハフタヲキ初通置直スナリ向点ニテ外ノ置出シ時
ハフタヲ隔カケテ置

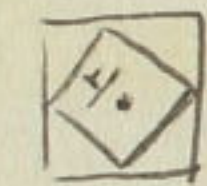
一蓋ヲキ大ハヨリ釜ノ蓋ヲ置テ炉縁エ置置ノ縁カ
程ニ初ヨリ置付ル釜ノ蓋タイカヒ大キナルハ初ヨリ其心得

ニテ蓋置少ク口ケ置目ニクヌ程ナラハ今新ニ不
一 葵採手、或ハ大平金常環ニ服紗一ツヲ取上ケタ
キハ服紗一ツ勝ニツケテ今一ツ懷中ニテ先ニ懷中服紗ヲ
タ、直ニ膝ノ前ニ反ニ置膝ヲ服紗モ取タ、ミテ
左右ニ持テ金上ケ一ツハ常ニ環置処ニ置一ツハ勝ニツケル
金上ケルテ懷中ノ服紗ハ懷中ニツケル勝ニツケル亦ニツキ
南ニテ勝ニツケテモヨシ

一 角炉ニテハ金上ケ所客付也凡炉ノ金上ケ通ナリ
一 文字有金ハ文字前ニ見ル兩方ニ文字有ハ書如ノ

前ニテカケル龍寶山ト一方ニ有大徳寺ト一方ニ有ハ山号
ヲ前寺号ヲ向ニスルナリ大徳寺ト計有ハ勿論前一方
右一方ニ判有ハ各ヲ前判ヲ向ニスル

一 火盆ノ蓋ノ口ニ生類有ハ字頭向イ、致ス金ノ口切時
居前ニ隨テ口切蓋置ニラノ時モ居所ニ隨也

一 金蓋ノ口ニ環有ハ環ニ前ノ方環ノ合目モ前ニ致ス
一 四方口ノ金ノ蓋口切ハ  如此向點ノ時同シ

一 セメ糸ノ金ノ環ヲ掛カルニ金シキヲ出シ置テ環ヲケテ金上ル也
金掛テ直ニ環ヲハツテ後金シキヲ納ル唐大耳ノ環モ同シ

一口ノ唐手釜ハ極寒ノ節宜補物ナリ或曰口唐手釜ヲ燒
口居ニモヨシ

一小釜極同者自宜ニキカ

一透木ノ夏大ハ炉小ハ凡炉又釜ノ大ニシテ炉壇カルヲ
用ニ凡炉ニ百侘富士釜等類

作法釜上ケ環ヲ定所ニシキ右ノ手ニテ右ノ方透木ヲ取
左ノ掌ニ置又右ノ手ニテ左ノ透木ヲ取左ノ手ニテ重子
ハ炉壇ニ付ル方下ニナル也掌ニ重子先俣テ右ノ手ニテ
アシライ持直シ左ノ手ニテ釜環左ノ方置但シ透木ノ

横ヲ不待透木上ニ下ノ端ヲ指テハサニ持ナリ置時ニ左
ノ手ニテ取右ニテアシライ左ノ掌ニ包テ方ヲ取左ノ方ノ炉壇ニ
置下ノ方ヲ取右ノ方ノ炉壇ニ置テ釜ヲカセル透木ハ炉壇
ノ真中ニ置釜ノ外セキハ炉中ノ方ハ片ヨセ置見計色
一凡炉ノ時ハ透木環ノ下ニ右手ニテ置畧而透木ヲ拿然
右ノ手ニテ右ヲ取直シ左ノ方ノ透木ノ上ニカサ子ニツナカラ一処ニ
取上ケ左ノ手ニ持テ環ノ次ニ置ナリ置トキモ重ナカラ
取テ左ノ方ニ置トキモ重ナカラ取テ左ノ方ニ置上ノ方ヲ
右ノ方ニ置凡炉ノ時モ同事

- 一透木釜ハ先ハ春用テコロキ欵
- 一乙脚前ノ釜輪口レ氏姓口居ニ致ス
- 一釜ノ蓋ヨリ一文子蓋或ハ竹輪蓋置スイワキ以モノナリ
- 釜ノ蓋致ス時向ノ方サレコレヲカエテ取ルハ得ラヨシ

鎖 兼 自在ノ作法

- 一書院ハ座鋪ニテモ天井高キ所ニ鎖ヲ用ル也
- 一散寄屋圍ハ座鋪ニテモ一段天井トキ所ニ蛭鍵ハ自在ヲカケル小猿繩ノ付左方ヲ左ニ致
- 一自在ニ書付モノ有ハ前ニ見ルヘシ

- 一判等有ハ前ニ致ス詩ナト書裏ウラニ判有ハ詩ヲ前ニ致様々ニ書付有トモカク小猿ノ付方ニ作畧有ヘシ
- 一炭致ス時釜ノ蓋ラシメ左ノ掌ニテ鍵ノ頭ト釣トラ抱、ウケ持臂ヲ膝ニ付テ右ノ手ニテ小猿ヲ上ケニ寸程釣ト鍵トサレコレヲ上ケ置釜ニキヲ出シテ右ノ手ニテ釣ヲ上ヨリ握リ持左ノ手四ノ指ヲ左ノ環ニカケ釜ヲ上ケコレヲ見ルニ左ノ手ニテ釣ヲ持右ノ手ヲ膝ニ置首ヲ左ノ手見テ右ノ手ニテ右ノ方ノ環ヲハツレ右ニ釣ヲ持右ノ手ニテ左ノ環ヲハツレテ釣ヲ釜ノ左側ニ

釣ノ上ニテ向ニテ置環モ常ノ如クハツテ釜ト釣ト間
置但勝手ノ方壁有ハ釣ハ壁ニ立カケテ置テモヨシ環ハ
定処置ナリ○常環トハハズ時合目法ノ如クシテラシ置
。炭仕通釜、環ヲカケ釣ヲ取テニ持右ノ手ニテ右ノ環ヲ
カケ右ノ釣ヲ持テ左ノ方ヲ左ニテカケ其手ナリニ初メ釜
上ケル如クシテ自在、カケテ両手ヲ環ニ付ケテ存、鉄釜ノ
ユリヲ止メ置釜ニキヲ納テノ掌ヲ亦初ノ如ク釣ト鍵トニ
アテ壁ヲ勝ニ付右ノ手ニテ小猿ヲ持テ釜ヲヨキ程下ケ両
手ヲ環ニ添釜ノユリヲ止メ釜ノ口ヲ切ヘシ自在竹切ヨリ

伊縁マテ凡一尺一寸斗天井ニヨリ不同

一鎖ノ奮釈自在ノ通也但釣ヲ抱ウケ持テノ掌ト小
鎖ノ上ケ鍵ヲ持右ノ手ト両方、引ハサシ少モ鎖ノ元ニ又
ヤウニ取扱ヘキナリ

一達磨堂釣ハ動ク方右ニテ掛ルテ手前ニテ凡ノ
方、動ク方ヲ致ス掛ハツレノ手勝手ニ随フ

一木仏釣ハ直ノ釜雲龍鶴首ノ釜凡釣ニ四方ノ釜凡釜
鎌釣ニ小平凡其外ニ天形凡釜何ニテモ取合格合作畧
次第釣ヨリテ定先トナシ

田炉裏五徳居様

一 四置半定法ノ小座鋪ニテハ爪一ツ明リ先向ツ爪左ニテ

一向切ニツ爪向ノ方ニテ居ル

一 横明リノ小座鋪書院等何レモ四置半ノ通ナリ書

院等面明リヨリテ一ツ爪右ニ致ス小明リニ重明リ

ニカクワラス一ツ爪右カ尤ヤ明リニ向様ニ心得ヘシ大爪

一ツ爪右常ナリ

一 欠爪アラハ一ツ爪ノ方ニ致ス

風炉並小板ノ部

一 凡炉居様居前ノ通ニシテ客付ハ五徳ハ真直ニ

居凡炉ノレニヨリ少シ向ノ見

一 小板真中ニテ凡炉少シ前ノ見五徳ハ板ノ真中ニ成

意也

一 小板大小氏向ノ明地ニテ居ヨリ守大目置ニテモ同壁

付勝手ノ方置直自九ツ上ニテ見計ナリ凡炉ヨリ七ニ五

ツニテ明置也客付ニ名稱勝手ノ方ニテ置

一 小板本間置直ニ引出シ置時ハ向ノ明少間半也

一 小板ノ位目大ナル方前ニ致ス

一大板ニ土風炉鉄風炉唐金風炉イツレモ置小土風
炉勝手ノ方ニモテ置大風炉ハ直中ニ置

一大板ヲ手板ト云ル小板ハ大ノ方少ノ方ト云

一大板居処向少板同シ勝手ノ方カ付ノ明置ノ目ヲ

三見計

一大板少板シキモ鳳凰風炉ハラク茶會用ヲモ若

一大ノ風炉ハ小ノ方少板ヲ用少ノ風炉ハ大ノ方少板ヲ用

一土風炉秋ノ唐金風炉ハ少板ヲ用時灰ナリ丸板ハ不用

一丸板ハ鉄風炉琉球風炉ノ置土風炉ニ不用向照ノ明

小板同シ

一長板ニ客付ヲ心シノ置勝手ノ方ニ稱客付ニツ

勝手四ツノ積リ也

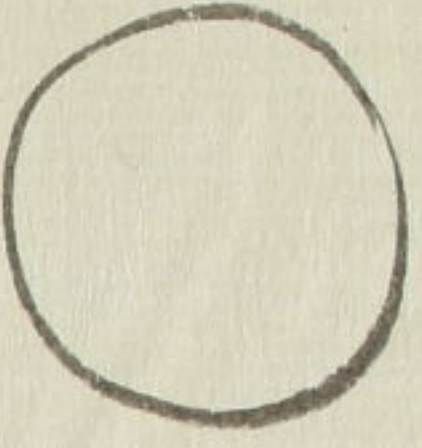
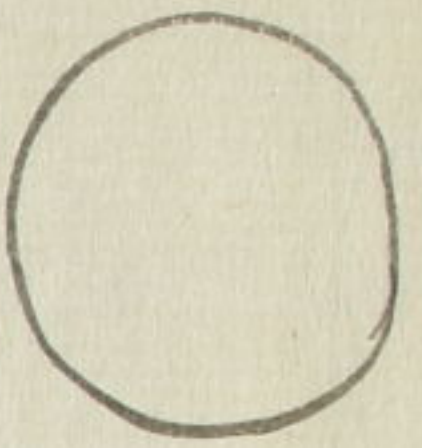
一床置直糸ノ縁ヨリ置自土六向ノモテノ是則臺
子ヲ置見當ル

一長板ニ真中風炉ヲラクハ一置下ニ此時風炉少ノ向ノ

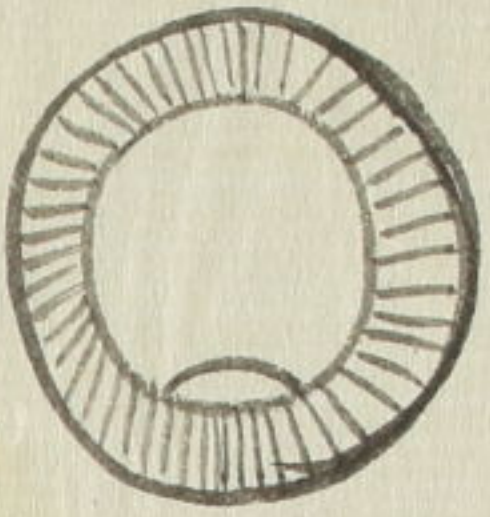
ヨモテ置柄杓ノ風炉ノ糸長板ノ上横ニ置ル也

一中置ハ土風炉鉄風炉共置土風炉ハ少板ヲ用鉄風炉ハ
丸板ヲ用大板ニ中置ハ不致

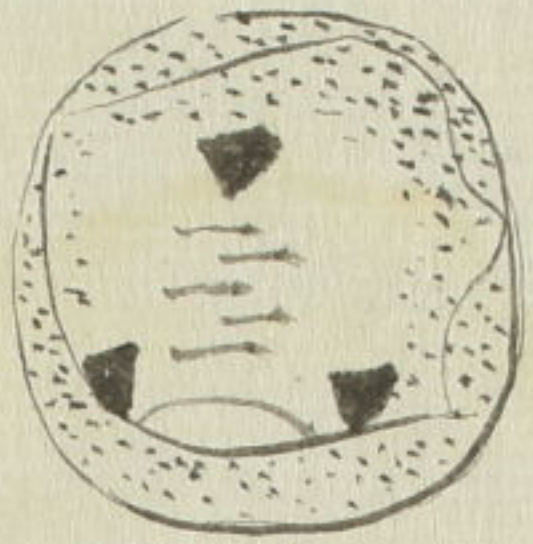
木風炉同新



琉球風炉丸ノ押切灰ナリ前向落モスナリ
但押切灰也丸板ノ兼



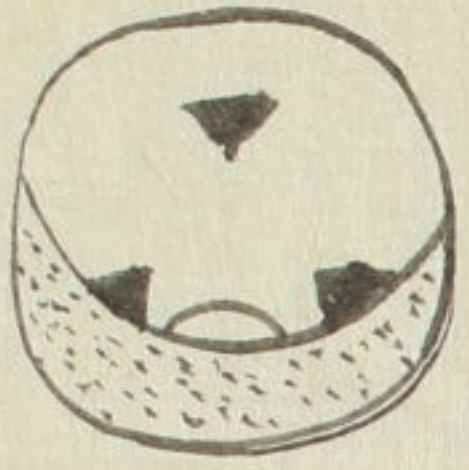
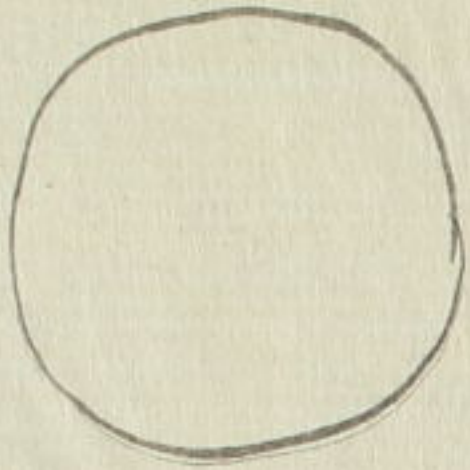
鬼風炉ノ灰外ハカリカキ上ケ候時ノ圖也下地丸
押切其上ラ火箸ヲステ付ル内ハ押切灰ヨシ筋ハ
外ハカリ内外トモ火箸ヲカキ上ケテステ有モ不苦



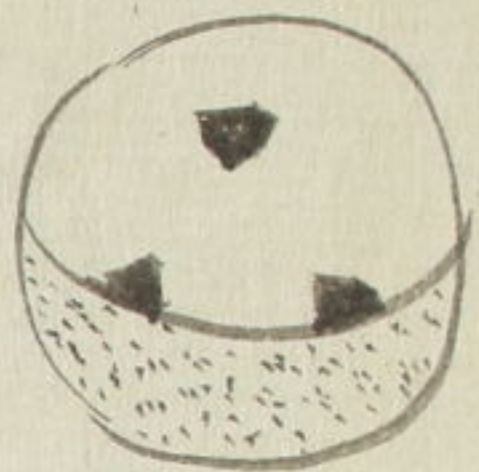
常玉風炉ノ灰ハ向ヨリ五徳ノ外ノ角付テ同五徳ノ
内ヲ直中ヨリ付出シ右方ノ五徳ノ前ヲ文字付廻ス向



カキ上ケ山ニラフ押エケテ右ノ前五徳ノ側釜見ル灰
時テ内ニ火箸ヲ筋五ツ分カリ
炭炉ノ灰筋ノ仕ヤウ替ルナシ向ノ仕方山毛丘
モナシ向ノ方風炉ノ前ハカケ右ノ方ヲ向見切也
大風炉ノ釜釜ノ時ハ向ラ切落スナリ



中置一ツ置左右ノ五徳ノ前ヲ付廻ス風炉
モ五徳ヲ直ニラナリ



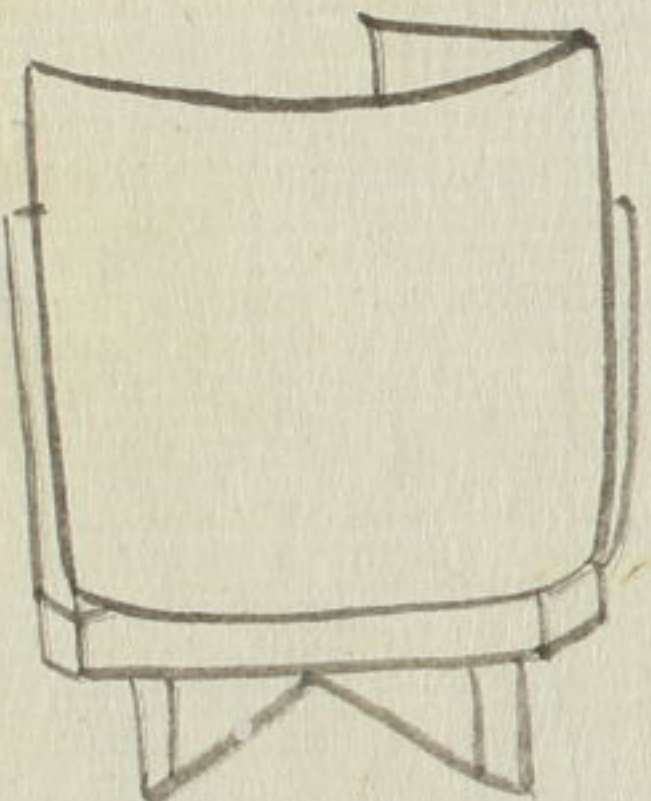
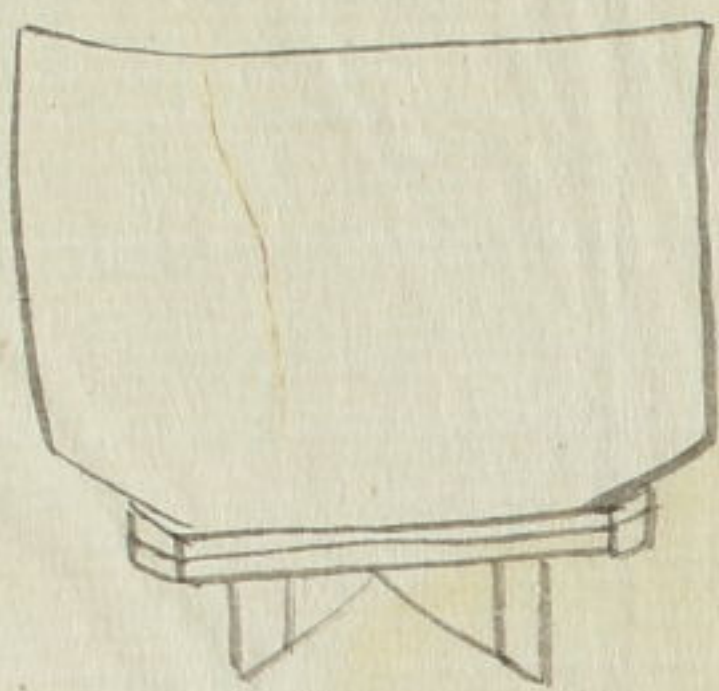
小風炉中置ノ灰ハ向ラ前ニ流ス

一板風炉木地風炉ハ古款塗丸ハ後款灰ハ炉ノ灰用土手サシ
中ノソトシカキ上灰也

炭計之部

- 一瓢台切限ハ當年ノ新ヲ用カケ流シ
- 一手フクハ老人ノ用ルモノ也 但手ヲメツミシテ右ノ手ヲ
持丸ノ手ヲ底ヲ持流ル瓢ノツルニ環ラカケモス
- 一炭其重常ニ奉奉ノ用ハ不直或ハ新宅祝義ナトニ宜シ炭

一ツツカ亦ハ廻リ炭ニ專用也其重ノトシメ向ニ致ス奉書一枚
ニテモ二枚ニテモ圓ノ折ヲ敷畧ス時ハ松葉紙ヲ用テ折
形ヨリ有片當時如左



右ノ方下ノ折

奉書其徑廣サテ落ス

炭致ス時白炭陰ニ不_レ及炭ノ組

様ヨリ灰炮烙除キ致ス

一 菜籠 中子に用春別布直

一 糸罌 好神ノ折あつ下ノ前致

一 糸絳 木地ノ緑高ハ下ノ向ニ致ス底色奉書面

角ニ切合ニ隅々ハ裏ノ折返ニ敷也 若年ニ初後カミラ

取替ル紙色替テ直一燈作良

一 手ノ付 元炭計ハ炉風炉在ノ前右ノ手ニテ

持出ル時ハ右ノ手ニテ持テ下ノ底ニ添持也

一 四足 菜籠ハ二足ニ向ト前トニ致ス

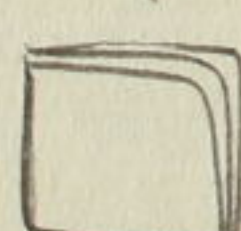
一 糸ノ箱 炭計勝手道具ナリ環ハ手ニテケル板ノ釜ニキ

ツカミテノ羽笠巾等此炭計添物ナリ朝夕釜カケ仕廻
用炭ノ切溜ニ用

一 平菜籠 公夏用テヨシ

一 金直紙ハ京渡ハ糸 横一尺 竖七寸五分


一條通折可角 二河屋迄兵庫方ニ有

一 懐申スル時ハ折目ヲ下ト下ト致ス  右折ニテ取也

折返シテ左ノ掌ノ載テリ  定処置折目客付ト前ト

ハ紙敷十五枚程直也 風炉時懐申スルハ折目右ト下ト致


 右ノ手ニテ出シ折返シテ左ノ掌ノ載右ノ手ニテ紙ノ小

持  定所置折目炭計ノ方ト勝手ノ方トテハ炭
炉在まのミハ此方返シテ也炭所焼シ灰地烙ト置合
ス時ハ何シモ折目右下前トニ致シ置

- 一唐物砥藤ノ組物ノ火置具ハ平日用竹ヲ切テ釜シキ
他ノ釜等ニ用テ不若板ハ釜シキ竹ハ釜シキ勝手物
- 一厚心子類紹嶋棚天井ノ真中ニ徹ルニ重棚天井ニ置
旅篋筒ノ上ニ置道草下ノ真中ニ置大日向板ノ真中ニ置
- 一大阿弥陀尊モ以上大釜ハ釜シキ紙大ニ致ス夏アリ

香合之部

- 一人秋類生類何シモ胸ヲ我前ニ向ヤウニ置付ル客工出スハ
胸ヲ客ノ方ニ向ヤウニ出ス主方ハ尻スハ打返シ主方胸ノ向ス
- 一餅待ノ物モ右月断竹花何シモ本ノ前ニ置付出ス時ハ本
ヲ客ノ向ハス

- 一蛤ノ香合高キ方ヲ我前ニ致ス客工出ス但蛤本ノ合目ホリ
高キ方ヲ身ニテニキ、シ蓋ト滑入シ蓋ノ裏ニ谷判有ハ其ハス
- 一ニケ月香合  如我前ニシテ客出スハ打返ス也
- 一凡炉時ハ筆物類先ハ言シ南京類ト言シ
- 一大キナル香合炭計入ヲメキ丸ノ掌ニ乗地烙ト度持出シ

一道幸袋掛釘羽帚掛香合棚置充方前置ノ前
之横香合ヲケ除置也一燈如方銅香合形モ大アリナリ自
作故棚置カス羽帚下ノ勝子ノ方守飾置候更
一壁ノ柄掛ノ釘羽帚ノ掛ケ其下ニ香合飾置モリ
此時モ香合ヲ羽帚ヨリ引下ケスノ方モ除置香合ノ
上ノ羽帚ノ方ニ致ス壁付ハ致サス

一童子類鴉棚袋棚ニ羽帚カツ合ハカリ飾置トモ天井ノ
真中ニ置合ス草許像高ノ炭計唐物ノ炭計モ天井
真中ニ置羽帚香合ノ方モ隅置合カス炭計

大ニ羽帚モ香合ノ如天并勝子ノ方ノ前ノ角ニ
飾モスルナリ

一大目向板ニ飾ルモ右ノ其ノ子類ニ准シテ人シ

一貴人ノ御作モハ張子ノ類善書モホラシキテ董物又
相用ルナリモアリ青葉アト先切テ用

一盒香合更 別記

一大目少座鋪袖壁ノ横并ヨリ下リ丸釣棚ニ香合
飾置棚ノ刻一分容付ノ方ニカス横竹ヨリカスル
棚ニ勝子ノ方ニ刻寄テカスル羽帚中程ノ釘掛ル

香合羽箒上置分カ九時ハ羽箒右客付方香合九勝方
定法ナリ

一 二重ノ釣棚ニ下ノ棚ニ飾ル定法

一 九右ノ糸又ハ九右ノ棚ニカラズ羽箒右香合九

一 (一) ハチキツミ有香合ニ横ニ見ル

一 香合ノ蓋ヲキル何レノ手ノミテモ置ノ真中ニ置

一 中置凡爐ノ時ナリ右勝先ニ置九ノ中置時ハ

九ノ勝先ニ置

一 前儀其ハ胡粉等ノ有香合ニ炭計組入更遠ニ有

一 香合羽箒炭計組入出ル時ハ羽箒ヲ置付火著

置合テ香入ヲ九右ノ手ニテ出ス又ハ羽香合

出シ置付テ羽箒火著置付テモ不苦羽箒香合火著

ト出スハ甚急

一 四置半ニテハ炉ノ時茶籠置下ノ隅ヲ自當羽箒

筋違客付ニ香合置合ス大目ニハ同ルニ身ナリ真

直ニ置其玉子具ハ大目ノ子ノミテモ坐敷置置半以


上ニテハ筋違ニ置付ル

一向切ノ炉ニハ羽箒火著置合ス向ニナリ

一格ふ大アリた香合ナラ四疊半ヲ羽幕ヲ香合ニカケ
テ置テモ言シ今日庵所待ブリク杯此奉親ヨシ

一凡炉時客所動モテ出久時以卷ニ文定処出シカキ
故床置ノ方々客ヨリ返スル茶碗出処

一炉時置置本トモテテノ炉縁右ノ角出ス客ヨリ
返スモ同妙也

一屋凡茶ノ香合ニ取立置付カ銅モブリクモ取立銅ハ
服ノ前柏ノ葉ハ茶上ラ右横  如此一燈好也

一炉時茶奉後ノ炭地烙内子灰取子ヲ仰テ

香合ヲ載出ルナリ炭計入ル元直

羽幕之部

一炉凡炉共鶴ノ本白ノ羽ヲ用也

一糸柄ノ羽極暑ニ限用ル

一ツカミ結ハ勝手物也

一炉凡炉遣勝手ヨリ左右ノ遣イ有四五疊半ヲ

火著ノ左置付ルハ左羽左ノ茶ヲ火著ノ右ニテ

付ルハ右羽右ノ茶ヲ火著ノ置合スト得ヘシ

一中柱釘壁ノ柄掛ノ釘道幸ニ袋掛ノ釘カケル

- 一炭計、皿入ハ金ノ方ニ付火著ハ炭計中方ト得シ
- 一炭致ス時、炉時ハ炉ノ方火著ハ炭取ノ方ニ付シ
- 一凡炉ノ時ハ炭計ノ方火著ハ凡炉ノ方ニ置付シ
- 一四置半ニテ香合ト置合ハ居命、右ノ方道具置ノ角ニ
置遠ニテキルハ

- 一大目ニテハ同処ノ身ナリニ直直ニテキ合ス
- 一白馬ノ大羽ハ掃込ナリ左右ナリナシ
- 一鴻ノ大羽ハ勝子物坐掃キナリ
- 一不審卷ニテカニ結掃込ニテ被用シ

一凡炉ニテ棚物ノ時炭計ノ前ニ横ニ置火著ハ出サス金上
ケテ後ハ金ノ方ハモシシテ掃遠ニテ置 一燈作
暑也

火箸之部

- 一炉ニテ象柄ノ用大ハ丸柄小ハ角柄ナリ
- 一凡炉ニテ鉄延付ノ利休母直鍬象眼砂張等ノ用
- 一柄ノ立ニカサレハ象眼砂張直鍬鳥類頭推頭鬼頭瓢
頭テウニテ頭等ノ類此ノ品ト有
- 一石作ノ火箸ハ大板客付ニ飾ル
- 一火箸ノ飾ハ大板ニ限ル客ノ所移ノ時ハ出スカタハ

カリ出ス夏モ有カ

一長火着ハ半田ニ添用カ炉火着長サ違アリ

一廻リ炭時向點ニ長火着丸ノ方壁ニ極ノ方下ニ

シテ立掛テ置スル

一廻リ炭ノ節残ニ置テ木柄火着ハ炭其ニ置キ

田ニ置直

廻リ炭之
式ニ安シ

一炭直ス時羽幕ト置合スハ炉ニテ炭計ノ方炉

ニハ瓜炉ノ方ハ付也

小口之部

一板小口蓋ノ木目横ニシテトケハ向仙雙ノ木目縦ニシテ

トケメロノ方ニ致水ニテヨクシメ拭切テ用

一釜水ヲテシハ時ハ釜ノ上ニ茶巾ヲメニセ瓜炉ノ

時ハロラ丸炉ノ時ハロラ右炉時ニ其ノ新ニハ膝ノ

方ハ釜下下ケ有時々ハロラ丸ニテ持出ル丸ノ下ノ底ノ

カケ右ノ子ニテ小口ノ子ヲ握リ持出テ釜ノ側膝ノ股ニ置

茶巾ヲ右ノ子ニテ取釜ノ蓋ニ系置両子ニテ小口ノ蓋

取仰テ釜ノ前ニテ茶巾持出ル釜ノ蓋ノ取小口

ノ蓋ノ前線ニカケ載テ茶巾ヲ丸持シテ右ニテ

小口ノ手ヲ持テ茶巾ヲ口ノ下ニテ水ヲ次キ本処置
茶巾ヲ右ニ持テ茶ノ蓋ヲ茶巾持添シメテ茶巾ハ
金ノ蓋ノ上ニテク両手ニテ小口ノ蓋^仰抑ムケナカラ小口
覆置茶巾ニテ金ノフタモ肩モ拭テ小口ノ蓋ヲ持入
但向點時ハ勝ノ方廻リ持入其外ハ皆客付ハ
廻リ入リ蓋置テ小口ノ蓋ノ上ニ載茶巾前ノ方ニ
セテモイワル令テ秋子細ナシ

一 薬罐ニテ水ヲツクトキハ蓋^シシキ石ニカケ茶巾ヲ薬罐
ノ蓋ノ上ニ置テ出蓋ヲキテテ茶巾持添茶ノ蓋

ヲ取茶巾ヲ左ニ持テ口ノ下ニテ水ヲ次ク茶巾ヲ右ニ持
添茶ノ蓋ヲシメ茶巾ハ金ノ蓋ノ上ニ置蓋^シシキ石ニカケ
罐ノ口ニカケ茶巾ニテ金ノフタモ肩モ拭テ薬罐ニ茶巾
載テ持入シ

一 水指水ヲ張時ハ小口ニテ茶薬罐ニテモ茶巾ヲセ
出右ニテ勝ノ方ニ置茶巾ヲ口ノ下ニ置テ水ヲ
張其ノ子長板ハ其水ヲ張ル外ノ棚ニテ水指ヲ
置直下ノ水ヲ張定法ナリ

一 小口薬罐^下ニテ水ヲ次シテモ拭テ遣フナリ

一 大口の直ぐの桶の水を張る也水指の代りを用ひ時宜し

見し

一 道幸水指之置時ハ取初水次ヲ持出道幸ノ下ニ

置テ戸ノ開キ水指ヲ両手ニテ出シ定処ハ直シ置テ道幸

ノ戸ヲシメ水指ノ水ヲ手張テ水次持入法ノ如ク茶ヲ點ル

一 小口の水指用ひ時ハ蓋ヲ逆ニテホリテ持其後口ト縁ト

ニカケテクナリ口ハ行シノ子ホリテ金ニ付シ

一 大口の水指用ひ時ハ蓋ヲ逆ニテ前ヲ持取テ丸

子ニテ持テクナリノ法ノ如クシテ勝子方ニ立カケテ置

風炉時ハ口向ノ角ハ筋違ヲ置升ル蓋モ口ノ前必シスガカイ
ニ立ツ也

一 塗片白羊洗湯桶用ひて水指ニ名可用

炮烙之部

一 炒ニ素焼ヲ用凡クハ蓋掛リノ角瓶ヲ用

一 灰柘子ハウツムケ入柄ノ外ヲ右ノ子ニ持出也入時モ右

ノ子ニ持テ勝子方煙ヲ入ル左ノ子ニテ同都テ

炮烙等類ハ炭ノ子ノ式ニ安記ス

半田之部

一 半田の和刻 半田村にて焼く本トシ名トスルカ如キ焼く用
炉ニ煮焼ク風炉ニ蒸籠掛リ大小取具ノ有テ秋ハ
別廻リ炭式等ニ他ス

炭切取之寸法

一 池田炭ト云ハ丹波ノ山家ニ而焼クヨシカ^{上品} 中品
下品

一 炉ノ切炭 明炭五寸 管炭寸輪炭二寸五分 秣
寺炭二寸五分 四方炭二寸五分

一 凡炉ノ炭 胴炭寸 管炭四寸 輪炭寸五分 秣炭寸五分

一 炉白炭ハ長七寸位 凡炉ノ時ハ四五寸

一 廻リ炭ノ節ハカツク并頭巾并底皮等時宜ク用

炉録之部

一 四置 羊以上ハ真塗ヲ用

一 四置 羊以下ハ本地録ヲ用

一 四置 羊以上ノ座 鋪ニ春ハ本地録用ル莫ク有

一 四置 羊以上ノ座 鋪ニ春ハ本地録用ル莫ク有

一 カキ合塗 録仙史好利休當^堂ノ録 注目ニ隅之^組 録^才 達^ニ

一 高其寺録ハ書院等ニ用

炉之灰之部

一春秋之属高ノ致シ冬ノ寒ノ氣ノ部ハ廊下ノ致

ハ得ナリ

一灰アラシ交リヲ好クハケヨキ故ナリ

一小金時ハ隅ノ大切大金時ハスミラルク切ナリ

灰抄子之部

一炉ノ時ハ素柄抄子利休菊桐ノ人ツテ柄大抄子

仙傳好景史好

ニ品有地烙入ハ何モウラムチナリ香合

ヲ載イツル時ハ仰ケルナリ

一樂焼抄子ニ用樂焼ハ釣釜時可然ナリ

花入之部

一金物類青磁南京漆付ノ類ハ多ク酒ヲ拭切テ用

一瀬戸其外ニテモ酒ヲリマウ真見ニ焼物類

ハ拭切テ宜

一茶ノ茶入モ酒ヲ拭切テ用

一竹伊賀信樂焼其外ニテ素焼或ハ茶味ニ草ニ

見ニ何レモ酒ヲ露ヲ湛用

一置茶入ハ床ノ真中或ハ床服ニ時宜ニ置

半三子燈臺ラク所三置

一板床ニ摺ル薄板ニ不ル

一行ノ糸入置ニ時ハ板ナ置

一篋ノ類何三ニ存不

一失苦ノ存板真也金物青月磁深白其并三

真見元類用矢苦ノ廣キ方上直置

一蛤口ノ存板行也備前伊賀信樂ノ類用溜塗

利休好ラ用真塗古識好ラ不用

一丸香身ハ草也坐悦竹ノ室筒ハ用伊賀信樂ニ

置桐ノカキ念塗ナリ板ノ木同本方ラ勝子ノ方ニ
致ス

一大目向板真中ニ置ラ

一釣舟ハラトシカケノ針ハ真掛古法也床天升ハ

蛭鍵鎖ヲカケテ毛釣ナリ櫃ヲ床ノ上ノ方ニナシテ

釣ナリ櫃下座床ニテ毛櫃ヲ上ニナス也書自各判等

表ニナリテ毛攝ナシ他流ニテハ火ヲナシ

一瓢ノ花入ハ酒ナス用

一真子桶ヲ花入ニ用ルリ利休極ヲ生ケ常印人白蓮ヲ

一釣瓶水指酒を拭切用フタ堅ミラキ付炉尻ノ隨ニ蓋取ル
方釜ノ方ニ致スフタノ取ヤウ向右ノ手ヲカケテフタヲ少し引
出し置テ前ノ端ヲ持テシカ引出し取テ一方ヲ明ケルメ
上ニサシヨミ少し前ヲ引出し置

亦右ノ妙引出し取テ左ノ手ヲ添持テ右ノ手ヲ向、操
イモ左ノ手ヲ引蓋ヲ前向廻シテ一方ノフタニサシ込キ
仕廻蓋シム時左ヨリ操戻シテ元濃茶點ル茶巾載
置ハ客付ノ方真中ナリ

一釣瓶取入ル時手ノ穴ノ処ニ右ノ指又持左ノ手ヲ底カケ添

コラモリノ両掌ヲ伺ミシテ持取扱モヨシ棚ニ不用蓋ニ明方ト
明ナル方トアリ

一真手桶拭切用ナシ横ニ置付ル口尻共ニ足ニ前ニ致ス
蓋ノ取扱ハ両手ニテ取持テ右ノ手ヲ向、操リ出し廻シテ
九キ方ヲ向シテ両手ニテ向クメノ上ニ車子ヲナリ蓋シ
ム時ニ両手ニテ取廻シテ両手ニテシカ引茶巾ヲ置ハ前ノ
蓋ノ真中ナリ

一蓋ノ合口上ガリ假方前ニ致ス運上持出ル時ハ炉尻ノ
右ノ手ヲ引シテモ桶ノ手ヲ右ノ手ニテ握リ持テ左ノ手ノ底

ハカケ添持テ出ル始ヨリ置水指ニ致ス大ロミテ水ヲウリ度々
水ヲウリモ不及又フタノ取様右ノ手ニテメノ真中ヲ逆
手ニテ取其傍桶ノ手ノ上ヲ越テ向ノメノ上ニカケ
テ置フタシル時モ右ノ手ニ逆手ニ取其傍シメル亦右ノ手
ニ真中ヲ逆手ニ取リ持テ左ノ手ニテ右ノ端ヲ持勝
手ノ方ハ丸キ方ニ置ツケ常ノ水指シ蓋ノ如ク立カケ
テラシ也長板其玉子ニモ置新シキ四方棚ニ置テ取合

ヨロシ

一青磁南点漆付金物類拭切用

- 一燒物ノ新平多クテハ酒シメルニ露ヲ湛用棚ニ置時拭テ用
- 一藥ノカシ膏有方之節ニ見ル亦カタキ有ハヒキ方ヲ大凡前ニ致ス
- 一塗土蓋ニツラ打リアリ凡好ノ時極暑有ニ適致テシ蓋取時
建水ノ上ニテ露ヲ切テヨシ
- 一左右多ク共ニ蓋ハ水指勝手ノ方ニタテカケ置也亦勝手
ノ方カクテラハ水指ノ通ノ壁ニメテカケラクモ直シ
- 一蓋ノ表容付ニシテフタノ前ノ方ヲ置直ニ付ケメテカケ置ハナキ
ツミヨコニ成也
- 一共ニ蓋度重クテ蓋ニツミ生鉄其が大きクツミ有ハ蓋ノ裏

之客舟ニシテ表ヲ勝手ノ方ニテ名ヲカケテ置

一鴿鳩棚ヲハ棚ノ勝手ノ方ニテカケテ之ヲ掛ク也

一平水指ノ一枚蓋大キナルハ逆手ニ持テ水持向指九落シ

其俵立掛ラケリ

一四疊半點ニテハ右ニテ蓋ヲ取テニテカケテ置テ

手前ニテハ右ニテ取テニテ持右ニ持テ置

一大目點ニテハ右ニテ取テノ手ニテアシライ右ノ手ニ

持テテ水指ニカケテテラツ風炉ノ時モ同

一凡炉ノ手前右ニテ取テニテ置左如右其ノ持

テ置

一置水指始終不取入飾置度々水ツクニ不及

一刻蓋ノ蝶ヲ有ハ釣瓶ノ如ク堅ニテキ付釜ノ方ヲ

明ル柄杓ノ蓋置ラ残シテモヨシ茶碗茶器ヲ残シテモ

ヨシ蓋蓋ハ青竹ノ蓋金ハ不取合水ヲキル時ハ蓋

明ル方ハ水次ノ口向ニ持出ル

一大口ノ水指用ル夏茶等ニハ不好ク方遣ニ方山口ノ部

ニ託ス蓋ヲ辟シニカケテ置テモヨシ

一木口ノ水指用ルノ部ニ託ス柄杓蓋を掛シ

一木具類何ヲモ水指ニ夜分用ルノ不宜水指ニ
用捨

一之足ノ有水指足一ノ前ニ置付ル

一凡炉時モ九阜時モ足一ノ前ニ致ス格ガ自立同
意ナルハ取合スカラス

一曲水指ニ氣筒有テ滑シ用シテヤウ必得有(シ柄物
蓋ニ情シラノ一ニ用捨

一藻籠欵水指ニ用テ時蓋ノ互切ニ不及手ハ向
テサレテモナ然

一盃盃ニ古流點ト云水指向半ノ直中置付ル蓋
ヲキ道具思置

一手分リ有水指炉凡炉左右手前何シテモ右手
持テラニ付掛シ

一燒お手附ノ水指ハ手ヲ持テテ可用捨兩手ニテ常
如ク抱テ持テヨシ

茶入之部

一漢ノ茶入ノ夏又冬傳

一古流ノ茶入名物ハ盆ニ載ル

一茶室に茶ノ景ノ有方前ニシキ付ル客ハトス時茶室ヲ
客ノ方ニ致ス

一茶室半ニテ永指ノ前直中ニシキ付ル定法也大茶
入水指ニ不取合ニ付テシテ流ノ通ヨリ尚ヨシ

一大目ニテ茶室ノ真中柱ノ通リニシキ付ル

一蓋櫃有ル茶扱不掛方ニ通シ致ス

一大海茶入飾付カクルナシ年類別ナリ

一茶入ノ蓋表ニ類蓋ニ茶碗ノ右取テラキナリ
蓋上膝下向テ取定法ナリ

一漢茶ニテ茶多ク點シ時蓋ノ前取更茶更

致サシト由出時モ不蓋庵内人取サレテ定法ナリ

一燈籠之

一茶室茶器ノ蓋付ルモ方取一定法ナリ

一釣付ノ茶入ノ釣ノ取立ニ置付ル大海年類ニテ釣ヨリ

左ノ方ニ置テ拭右ヲ拭テ置合ル茶扱等如實更

釣ノ横ニシキ合シ茶扱ヲ釣サレテシキモアリ

一日本子ト有茶入ノ水滴トモカノ方ヲ向付ル方前ニテ

置付常如ノ扱テヨシ

一口有り有テ油瀉ト云口ノ方ヲ向テ致ス

一手ハかり有テ手瓶ト云手ノ方ニ向テ致ス

一右ヨリ茶ヲ入レテ之ヲ方ニ置キ有レシモ又ノカキテ

ヨリ其ヨリ之應シテモ之ヲ作具者有レシ然レモ

共口ノ有テ是ニテ口ノ方ヲ向テ致シ之ヲ更ニ燈ノ意

一刺蓋茶ヲ入レテ付ハキテ大海ノ款ニシテ丸ノ方ヨリ

以テ拭テ釣付ノ如ク扱フナリ蓋ノ取様ハ右ノ方

ヲ取テ茶瓶ノ右ニ置キ茶瓶ノ口ニ茶ヲ拂テ丸

ノ方モ取テ右ノ方ニ置キ重子ヲ用テ  如此ト違ハセ

テシテ丸ノ方ニ拂テ片々々々取テ蓋スルナリ

一刺蓋蝶ノ口有テ右ニ同シ茶スラテ時皆取テシキ

蓋ハ丸キ方ナリニ成ナリ

一茶ヲ入レテ拭ハ服シテ丸ノ右ニ持テ丸ノ茶ヲ入レテ丸ノ

和カシテ蓋ノ向テ丸ニ拭キ亦モ同ク拭テ右ノ掌ノ服

針ノ意ノ茶ヲ入テ丸ノ中指ト次指トヲ右ノ掌ノ服シ

ニシテ付ルテ掌ヲ押テ丸ノ大指ト次指ト

茶ヲ入レテ通ス小指ハ底ハカシナリ

一茶ヲ入レテ茶瓶ニ用テ袋ナシテ又計拭蓋ハ茶瓶ノ右取

一 跡見茶葉の二重包より茶を袋に裸にて付し
一 小茶を入る秋ヤウ割にカハルイナシ
一 口ノ至極茶葉入の茶箱出サス振イナシ用

東ノ新茶の茶葉巻之部

一 袋茶の袋入飾付茶入二同

東ノ試服抄ヲメニ右持丸ヲ東蓋ノ上角
ヲ丸ノ和ラカニ持蓋ノ向丸ニ試前二同ノ試ノ直服
抄ノ蓋ノ中置茶ヲ押向ノ方ノキヲ合シ丸ヲ
置合ナリ

一 東ト下名ノ付丸新何モ蓋のたれた茶の試ハ
カク取置ナリ

大東ノクメ或ハ大平茶ニ時抄ノ柄ニカキテハ
多碗ノ前ノ取るの仙の入り常服入茶の致セ
シ由置置半大目目柄ノ柄ヲ越テ右蓋ヲ置置ナリ
是ハ京師ノ致ナシ申ナリ

一 東ハ大中小有大ノ中大小中大小中大小以上九各
ニ丸亦ワシナメ至テハ大ヨリ中ニテ袋ヨリ出ス時茶ヲ秋
茶入向而也中ヨリ小メテハ袋ノ緒一ツ解カケテ丸ノ

掌を右指し解つし指しつかりらる口ケテ巻つ
出る中巻ハ大如クモ手新巻用

一ツし巻ハ初ヨリ掌ノ上ニ指ヲ解テ出スナリシ巻地ヲ
取直シ置巻シ取直シ掌ニ載テ指ヲ解出スヤ
一巻ハ糸ハ糸ヲテスノ入糸ヲ持チカラモ
跡ハ濃糸モ前ノ糸モ同シ仕方ハ左ノ拵ハ時ハ
ニスリトカリ入テ中ヲカメテ糸ヲキ出し打アケルヤ
一下指巻白粉トキ其名付巻ハ何モ小巻同
合公新也

一巻ハ服細色濃糸點ル時ハ先ツ服紗ヲ
廣テ直中ニ巻テ置テ角ノ向ヲ打カケ向
角ヲカケテ端ヲニ厚ハニキ廻シテ巻端ヲ入
ノ緒ハ女ノ結ヲ解ヤウ小巻合新ハ服紗巻
テ袋巻且モ巻也瓦入時ハ服紗ヲ重子枕
ニテヨシ水指ノ蓋ニ乗テ瓦入懐中ニテモヨシ又巻ハ丸
服紗ヲ巻積遺ニテモヨシ

一大津袋ハ大中山共ニ下ニ指シレノ一ツ解カケテ
載ハ丸服紗ト同合新ニテ代巻ノ底ハニテロシ

リ持テ指ノ本意角ノ立ヤウニテ指ノ先皆糸
音付ハ様ニ持テハ腹中ニ拭ク向方一文字ニ拭
ホノ方一文字ニ拭ナリ直ノ中次ハ濃糸ニ懸ル
ヨリ糸ニテモ載セ昔ヨリ拭様多抄ノ掛ヤウ取
扱大初ニイマス

一為糸音柳ノ飾リ置テ一葉同前

一糸音ハ為糸音也利ノ子細ナシ

一アコダハ糸ノ糸音也蓋ハ糸後右取也

一詩中次ノ解法ハ糸音ハ合口有テ扱薄有也

糸ノ後ニ部

一其玉天目ノ傳

一ハ糸後飾ノ傳

一糸ノコゲ或係具外景ノ有方一盤子糸カメブキ有

方ヲ糸ノコゲ持テ置付糸ヲ懸出ス時ノ糸ノ方

向様廻シ出ス也濃糸前ノ糸ハ二廻ニテ出ス且

一濃糸上客ノ糸後トツテ沈客トノ向置ノ録ヨリ

内ニ至腹針ノ糸我身ニ近クノ糸後ノ側ニ至懸孔

既ハ腹針ノ扱ヤウ腹針ノ部沈ス大糸後ハ置置ノ

録ヨリ外ニ置ス且

一 未だ所ヨリ上客を、房より茶碗ハ飲マシ上客の方ハ先
 二 室の邊ヨリ縁ヨリ茶碗ハ先テ程大凡除ケ外也
 一 上客跡ヨリハ房より茶碗ハ飲ロシ下ハイテ茶碗ハ
 茶碗ハ下ハ房ヨリ茶碗ハ先テ時々同シ
 一 尤も茶碗ハ先ヨリ出ス茶碗ハ先ヨリ出ス也客ヨリ
 房ハ時々先ヨリ出ス右ノ茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又
 直ニ置物ハ先ヨリ出ス茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又
 是法也古ニテモ不苦
 一 茶碗ハ先ヨリ出ス右ノ茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又

茶碗ハ先ヨリ出ス右ノ茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又
 直ニ置物ハ先ヨリ出ス茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又

一 茶碗ハ先ヨリ出ス右ノ茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又
 直ニ置物ハ先ヨリ出ス茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又
 茶碗ハ先ヨリ出ス右ノ茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又
 直ニ置物ハ先ヨリ出ス茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又
 茶碗ハ先ヨリ出ス右ノ茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又
 直ニ置物ハ先ヨリ出ス茶碗ハ先ヨリ出ス飲ロシ又

合符を後戻りアラハル陽をギシ建ある向
出テ建ある物所持入次ニ符を取入
次ニ建ある符入符を後戻り方先戻ル陽大
キニ建ある向ニ置キ符を戻ルシ符ヲ法ノ
如ク仕廻也

一濃を初り符を後戻り候様也

一凡炉時ニ符を後戻り候候ニ符ヲ仕廻キ其子長
板ニハ符ヲ水指キニ仕廻也花月時モ亦
指キニ仕廻リ

一平子余七柳ホニ勝ノホニ仕廻方和ラカシ

一草紙持立候置キマタナリ也

一凡炉時ハ柳ホニ置キ候時ハ草紙
持立候置キマタナリ也家にお茶入ト至
合ニナリ也ナリ也ナリ也ナリ也ナリ也
ナリ也ニテ茶入モ右ニ直ニ草紙モ右ニ置
付也

一凡炉時勝ノホニ仕廻時ハ草紙拭草紙
カテ候候ナリ候候ニ直ニ其子

三ノ葉入ヲ至合ス唯針腰ニ付也水指其ノ三
任廻付ハ葉ヲ拭葉紙ニカケ貼紙檢ニ付テ葉
入シ置直ニ葉紙ニ右ニ置合ス也

一 尻紙たハ葉ノハ右ニ葉紙たニ葉紙抄出葉紙
ハ指ノ葉紙附ニ付テ葉紙右ニ付テ置合
點ノ油たニシテ葉紙ヲ右ニ付テ置合
葉紙右ニ付テ置合紙右ニ付テ置合

仕廻ニ右ニ置合ス直ニ葉紙右ニ付テ置合
紙合ス

一 草子柳ハ送テ仙師又隅廻付シモ付廻ノ
葉紙上ハ付テ置合スノ跡拭切葉紙モ付
紙直入置也

一 仙師葉紙塩筒ノ葉紙葉シ點ニ時葉紙中ヲ
取内葉紙葉滴リ初ニ拭テ取葉紙中ヲ葉紙葉ニ
掛拭廻シ其後葉紙中ハ又キ出シ持係葉紙中ヲ
下ニ置葉紙中ヲ取テ筒ノ高キハ横ヲ葉紙中ヲ
掛好シテ取掛置ス

一 草葉紙葉ニ葉紙葉ハ付テ置入テ置

一仙印入陽棚トモ上籠上ケルハ右ノ茶器上ノ棚真中
上ケ茶碗ト右ニ下ノ柳茶ノ方ハ茶碗半交程出
カケ上ノ巾也柳好初ニ上ケ有二三少シ客側ト茶碗
セテ上ケ也

一江岑棚ニ引出ル茶器ヲ入茶碗斗棚ノ茶
飾リモ致ル也

一建所有付飯室トスル茶碗ハ右ノ巾ニ也
一茶碗籠ニテ茶碗時初ノ茶碗茶ヲ飲実宿
テ次ノ茶碗出ルハ客茶碗取テ後茶碗點茶

度々也

茶抄ノ部

一茶碗ト並ニ茶碗茶碗トテテキ茶碗ハ右ノ巾ニ也
市キナリ所ニイテスルハ先テ茶碗内ヲ打茶ヲ
一茶抄飾ニイテスル茶抄ヲ折ニテ又ニ折ニキ
真中ニ置^侍釣棚道幸ニ飾ル何シモ真中也
後座ニ茶碗ニカケテ飾ルハ茶先飾也
一茶先飾時茶抄ヲ茶先飾ニ置ル客付ノ方也
たゞ茶ノミテ客付也

一油竹ノ茶筴は濃茶并茶ノ平日用其穂中
穂少穂多系統ニヨリテ此等ニ合入ル

一真ノ茶筴ハ白巾也油巾ニテモ極穂ノ細キヲ
真ノ茶筴ト云

一軸長キハ筒系統ノテキニ用

一茶筴先トウシイマスハ初穂先ヲ押合気味ニテ子
首通シニテ度打テ穂ヲ振スルキ置仕廻リ穂
先ヨリ振スルキ置仕廻リニテ度打也

一茶筴仕込ハ茶筴ノ向ノ方ハ茶巾ヲ入穂先ヲ

下ケ軸先ハ掛シ茶巾ハ茶筴先ハ茶巾ヲ入穂先
入穂先ヲ向ノ縁ヨリニテ方出シテカケ油ヲ茶巾ニ
付ル花月ノ時ハ上方ノ仕込様見先置仕廻ラ
イマス時種仕込先如ク首尾ヲ合入ニ

一茶筴先穂ノ組留メ糸ノ結目軸ノ植表也
系統、但入ルニ表ヲ上ニイテ茶巾入ト置合入時ハ
表ヲ前エイマス

一茶筴先飾リ共茶筴先立カケ茶巾ハ表前見也
真ニテマニ置茶筴先立カケ茶巾ハ表前見也

茶巾ノ部

一 茶巾晒島之物布幅金尺三寸一尺アルヲ

五寸ニシテ西端ヲ捻テ裏ト表トセカぶりニツラ

大丸置直ノ自土一ホドニ成ル

一 茶巾ノ茶無ニむハ大目四枚ヲ行シテモ茶巾ニ随テ

巾也向然ハ手ナリニ直道ニ置テ巾ヲ柄取柄ニ

巾也凡柄ニ入テ右ノ巾ハ柄ノ柄ニ付也

一 濃茶巾茶巾ノ柄ノ茶無ニむハワキニ寄セテケテ

之刻甚直釣紐ハ直道明ル方ノ好方ノ真中ニ至

真ノ手柄茶巾ノ茶無ニむ中ニ至也

一 長板其巾子真直ニ付直ニ依テ巾柄ノ象代板

ニ至也

一 凡柄ノ板茶巾ノ方巾ノ角ニ逆ニ持テ茶

巾ニ付テ敷瓦ニ付柄ニ付テ板ノ板同巾ノ至

一 凡柄ニ付巾子時茶巾ノ茶無ニ置テ真直也

一 茶巾ノ向切テ流懸イタテ柄ノ巾ノ不絶水柄

ノ巾茶巾ノ茶無ニ置テ真直也

一 長板一ノ置テハ巾直道ニ至

真平の袖ナリ紐ノ組止メ方右ニテ座ラ
ホクイマス行シニ置キ紐ノ組止メ糸入付ト薄クシ
一大目跡ニ置キ置ハハ指ノ通積者凡建多
ノ通ト薄クシ

一凡行所ハ指ト小板トノ真平袋タケ水指
ヨリ向ノ右ノ子ニ置

一真子ニテ右ノ子共積ハノ方真子ニ并
ノ角ニ置前ニ置ハ角ニ凡袋半分メケ除テ已
組止メ実付ニテ磁付ノ子積子ニ上ニ紹陽棚袋

棚子

一凡行所真子ニテ右ノ子ニ上ニ置

一小棚ノ分炉凡行共右ノ子ニ上ニ少細ニ炉凡
短共真中ニ上ケ也江岸棚ハ引出ハ入并
ニ置

ニ置棚ハ抄ヲ上ニ棚ニ置

縁ハ厚クシテ并ノ真中ニ置

四才棚ハ四節席身真中ニ糸着有テ積
子ノ方ホノ角ニ心炉凡行共右ノ子ニ上ニ

一長板一ツ至テハ腕ノ才板ノ上ニ至ル所ナリ
端トノ真中ニカケ

一長板物ノ飾ニテ少キ代ハ坊風炉口ノ指ノ
至希法ナリ好ノ所ハ少指ト移立ノ間真中ニ
カケテ大少共直ニ引テ置也

一通子袋掛ノ針ニ掛ル時ハ糸入ヲ出シ袋ヲ
右ノ持テ先ニテ戸ヲアケ置袋ノ口ヲ引テ
持紐止メ向ニテ大ノ子ニ掛ル定法也近キは種
ノ間ニ掛ル時ニ紐止メノ糸ニ向ケ掛ル事可知

ト申サレシカ共難ト直ニモアラスト重テ一燈ニ氣也
定法ノ如ク紐留ノ底ノ糸ニテ紐ヲナラシメ針掛生
一仙史ノ角棚ニ下ノ長手棚ハ真中ニ袋ノ口ヲ出
カケテノ子ニテ上ル

一壁掛物ノ針ニ掛ル時ハ紐ノ紐留ノ向底
糸ニテワナラシメ針ニカケル代ハ同ノ糸ナリ
掛ル時ハ右ノ子ヲ引テ右ノ子ニ掛ル也

一中柱ノ針ニ掛ルハワナラシメ方ト紐止メ方トナラシメ
テ紐止メ方ト糸ニテ右ノ子ニ掛ル也

一 味子方在ノ角ニ有棚口元ハ紐止ノ安付ニ
テ下ノ棚口元

一 今日廢水遺道者ノ棚ニ抄上元路ノ打
右ニテ在ノ子ニテ真中ヨリ有テ置也

一 小阜ニ係糸畧有特阜上礎下ノ間置也至
風好所ハ阜上風好トノ間置也置也

一 向然ニテ好下水指ノ間置有指上礎下ノ間置
少シ向ノ字ヲ紐止右ニテ置

一 大津袋結ニ船跡ノ字入者ノ部記

一 長緒ハ釘ニケテ道者ニテハ棚花前ノ方置

一 梯袋ト云ハ千流ニテ也

一 他名所々ニキ時ハ多指置也置也ナシノ載テ指
入傍中ノ一ニテ置也又別ニ有也出テ置

一 二名代名ノ字

一 建ノ方ノ字

一 曲建ノ方酒ニ拭切トケメ若自ニテ出物
引也これイメシトケメラ廢附方也置ナリ
又字ナリ也トケメ下ノ方置置是ハ草付ナリ

し中也

一 金物鏡の物付し三毛内不濡して拭切用

一 巾車一三毛建より角棚一下口入の時より

心より真平へ棚のあふりかゝる程出しかげ

棚より入がし建より不用

一 平建より三毛の合つてつるケス仕向抄を三置

コト成がたし建より跡より三置の抄掛ケテ置也

一 仕込より入り子點ト云ひ建より中へ並根ヲ入

並根の内、昨抄を三置の三毛建より入り指し置

飾付置勿端茶先飾也茶お毛水指し蓋

置テ是時、三毛を三置し両子三建より持

壁付し是所三置直に両子三建よりあは

成水サシノ前、飾り付テ柄抄ヲ引扱乳珍

柄抄三毛を三置し隅棚柄抄掛ケ釘

ナク作鬼石三毛及べし並根より出で服

飾り取法ノ如ク點也

一 仕向三建より持入り行しノ席三毛時三建

付ノ方、ゆつ持入り也

栞抄ノ部

一 其子類抄立口立ハ指通シノ抄ヲ用

一月形抄者三用合書リト云々アリ

一直合抄抄重キモノナリ用抄ノ物ノ本ノ

ソヤヤ凡抄ノ身ノ方ヨリソヤヤ抄ノ後ノ方ヨリソヤ

抄ノ付ヤウキ違アリ

一 大目ニテハ抄録也引栞抄ヲ割ナリ

一 四角抄ニテハ三ツ割也

一 向紙直道ニテハ

一 左ノ方ノ向紙ノ右ノ方ノ凡抄ニ唯々

一 右ノ方ノ向紙ノ左ノ方ノ凡抄ニ唯々

一 右ノ方ニテハ抄ケナリ引合書抄ハ直道ニテハ

一 四角抄流紙ハサカサカ折ノ方ニ直道ニテハ

掛紙ハ四ツ割也

一 三多抄ノ向紙ノ向切流紙ハ空紙ハ折ノ方

一 直道ニテハ直道ニテハ

一 二多抄以上ノ向紙ノ向切ノ流紙ニテハ

一 外ノ条ハ美置白ノ尺前ニ抄紙ニ着故抄

卒下ケテ前^上夜^目セ^た子^持法^如系^之也
仕内抄立^三同

一 長板ノ一ツフタ大板ニテモ尻^部ノ前^方右^ニ
シテ引ナリ^た多^少ノ^ニテハ^掛方^たイ^テ多^少ノ^掛
入^抄ニ^テモ^又テ^陽カ^シイ^ヨス^也

一 中置ニテハ水指^ノヒツ^ニ箱^ノス^下ノ^方中^置
モ^ラ置^右ノ^子ニ^テ膝^ノ前^方ノ^掛部^迄ニ^掛引^也
尤^モ中^ノニ^テハ^打カ^シタ^ノ子^引

一 曲水指大蓋^刻蓋^ホノ^置水^指ニ^抄蓋^置

一 神宮^ノ抄^ノ合^ウテ^テ向^ノ縁^ニカ^ケ物^置引^カテ^也

一 系^止テ^後ニ^建水^口メ^メニ^記ハ^テ系^入行^也ニ^出府^也
モ^後月^切仕^内ニ^仮座^ニ置^テ抄^ノ合^テ示^シノ^縁口^ハ
掛^ス向^フツ^シテ^掛置^テリ^ノ蓋^部建^スル^也

一 童子^教少^棚口^モ抄^上ケ^テ時^ハ又^テ陽^カ是^ラ
イ^ヨス^也

一 道^寺隅^棚也^テ釘^打付^ノ棚^口上^ケ物^抄陽^カ
ヘ^シ石^致壁^ノ掛^ル物^抄陽^カニ^シテ^也

一 子^成屬^是子^成少^子子^成抄^立背^ノ子^成ハ

一 二ツ葉の上下ニツ葉モ有上ハカリニツ葉ニ仕丸モナリ
 六葉ノ方下ハ葉ノ方上ナリ葉ノ方見ル打引
 時ヨリ打引シ六葉ノ方上ニテ置ル葉ニツ葉
 ノ柄ニ付リ上ニハカリ葉ニ仕丸モ打返シ今款也
 上ハカリニツ葉ニ仕丸ハ仙洲の好
 一 五徳ハ瓜ノ方上ニテ一ツ瓜葉ニツ葉打引時
 打返シ輪ノ方上ニイヌス瓜一ツ打引柄ニ付リ今
 常用亡共釣屋透木ニ至ノ時用可也
 一 紫木根ハ餅リ付ル時口ノ方下尻トガリ丸方

おき強打引時有打返ス口ノ方上ニテ尻ノトガリ丸
 方打ノ柄ニ付也
 一 群出ハ目ノ葉ニツ葉ノ如ク一文字ニ横ニ置附打引
 是ナリ引向出ニハ柄打直ニハカリナリ打引ニテハ
 節遠ニ置付強ク面打ノ柄付也長板一ツ至
 左板六面ヲ糸ニイヌス横ニ文字ニ置付柄打横ニ
 引也
 一 印ノ蓋至ハ小サキ方上大ニ方下ナリ打引
 時打引シ文字ノ頭ヲ向ラヌ四角ナル印ハ炉の

ハ好縁と推入云々也

一 驛路ノ鈴子細ナニ取扱フニ好ラヌ様ニ致ス
千家ニ不好

一夜此子ハ是ノ敷ヨリ至カシ作果ス之部ヲ致
千ノ習リタル皆夜此子ト云七種ノルイモ夜此子云
一夕秋風行ニ附ルモ至子細ナシ少ナ方工大成方下
并返スニトモナシ

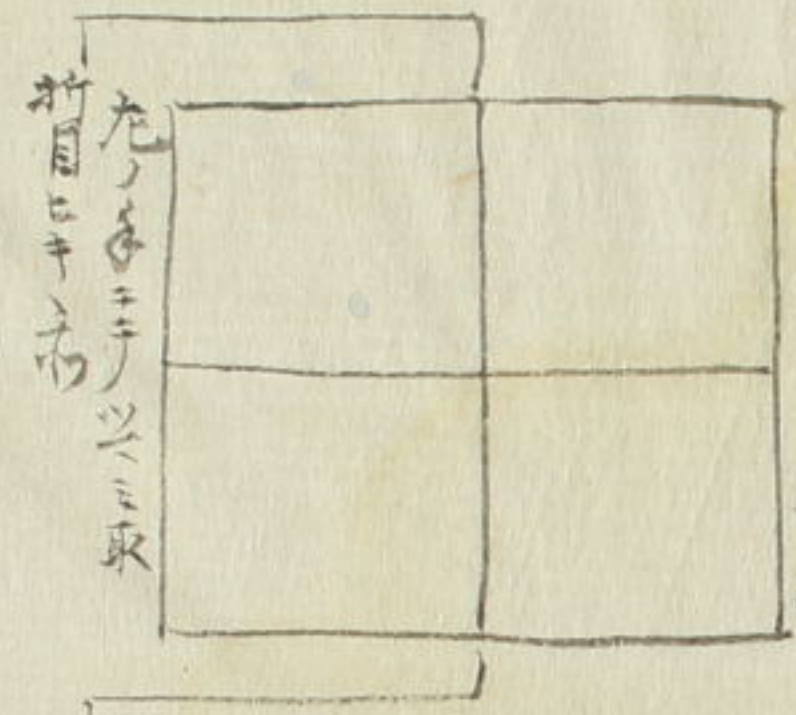
一 樂鏡輪ハ至至至有ニ樂ノ字印有ニ蘇ノイモ好ノ
柄ニモ付ナリ常ノ竹輪ノ如クモテ取扱フナリ等類也

服紗之部

一直ノ服紗ノ得

一 平常ノ角服紗ノ取扱ニヤウハ

如出塵ケ左右ノ角ヲトリ向
ニラニ并合ワテノ方ヲ若付ミシテ
勝ル方ノ勝ミナシ也

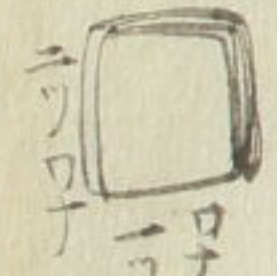


折目ニキ所ニ方前表也

一 紫 利休 紅 同 紫 宗全 三色アリ

大ナハ至至身ノ目ニテ立横ナ九ナリ

一 糸線ニ付テ出ス時ハ四折タル又ニラ折



折目ニキ所ニ方前表也

トトトミテ右ノ端ノ内ヲウニ折也蓋蓋ノ紙ヲ四五枚割
イテ折テ服紙捲入フキノ耳ハカリハツ有方ヲ白ニシテ懐中
イテ紙巻紙ラ出シ蓋右ノ手ニテ紙トモニ出テ持取出シ
丸ノ手ニ持テハ紙ヲ度テ右ニテ服紙ヲ出スル紙
右ノ方ニ具儀也服紙ノウチハカリノ方紙捲ト客付
トノ方ニ成

一客方ニ蓋蓋浦ニハ蓋紙服紙出スル座ラ立テテキ先
フキヲ右ニテ取テノ手ニ載テ四折ニ蓋ケ紙ノウチヲ右
ノ方ハワリ廻シ服紙ニ載テ座ニ降リ客方ニ蓋
テ紙丸イマスル紙以上ノ少座敷ニハ膝行ニテ茶

紙ラトリ服紙ヲ取テ膝邊ニシテ客方ニ蓋紙丸ニ紙
服紙ノ取法ノ如ク扱ニ紙ヲイカキ紙ナリ末紙
紙折ニ紙ニ上客ノ白紙ニ紙捲ニ蓋紙ニ紙下ニ紙
紙ヲ置ワキ上客ノ右ノ方ニイマス上客紙布ハ度ヲ
亭主懐中ノ紙ラ出シ丸ニ持右ニテ紙折ラトリ紙捲
ニ入テ懐中ニイマス紙捲ラトリ紙捲ニ蓋紙丸ニ紙
或紙ニ下ケ丸紙折ヲ直ニナリ紙捲成共ニ紙捲ノ
方ヲ客ノ右ニシテ紙捲ノ下ニ紙出シテモ白紙
ヨリ度スル紙捲ノ下ニ紙折ノウチニ紙捲ノ右ノ方ニ成

ヤウニ振るるアリ其ノ取テ腰ニ付ル


一凡行ニテ茶碗ニ茶ヲ斟ル時ノ茶ノ仕向時ノテテノ
多投茶碗ノ部ニ付

一茶入茶器所望ノ時ハ茶入法ノ如キ振服仕持テテ蓋
多トリ見テ蓋ノ裏茶入口杯ニ茶付カハ直ニ拭テ蓋
ヲイメシ服飲膳ノ前ニ置茶入法ノ如キ置^置テ服飲
腰ニ付茶抄袋出也

一茶入茶器茶器拭テ内海金銀茶ノ蓋トリヤウ
茶上服飲色服飲ニシテ金光ホ各其所ニ記ス

一シヨリ服飲利ノ子御ナシ

一真塗四本柱ノ其ノ子客付ホノ柱ニ服飲ノ
結ニ付ル角^{カケ}ト取テ取テ四ツニ折柱ノ向ヨリ當
右ノ端ヲ上ニシテ結ニ上ニワナニシテ端ト端トテ
梳^ハテ降^ル止リ先如柱ノ上ニノ方ニスビ付置ス
臨時ハ尤ノ孝ヲ柱ノ向ニ着服飲ヲ押ク右ノ
手ノ大指ト食指トニテ上ニ成先端ヲ取引又メ
キ下タグリシ服飲ノ半程ヲ又以テトワテ腰ニ付ル也
一此指塗蓋ノ上又表ノ上ニ草ニ乗テ置置アリ

一花月ノ時終ニ腹紗ニイタル腹紗ニ折ニ廣ケ
ワナノ方ヲ前ニシテ向ラテハニラニ折前ノ方
方ヲ其トク折ニ折ニシテ右ヲ前ヨリ上ニ結フ玉
章ノ如ク端ツルニ結フ  如ク折ニ解キ候リ而テ
引分テ解テ前ニ廣ケテ此ノ上ニ角ト右ノ下前ノ
角トシテ右引角ト角トシテ向ノ方ニ合テ折ニ腰ニ
附ル也



